

予算決算審査委員会報告書

平成28年9月16日

備前市議会議長 鵜川晃匠 殿

委員長 橋本逸夫

平成28年9月16日に委員会を開催し、次のとおり議決したので議事録を添えて報告する。

記

案 件	審査結果	審 査 概 要
議案第88号 平成28年度備前市一般会計補正予算 (第2号)	継続審査	総務産業及び厚生文教委員会を単位とする分科会を設置し、各常任委員会の審査と併せて、所管部分の審査を行うこととした。
議案第96号 平成27年度備前市一般会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	なお、分科員には各常任委員を、また、正副主査は正副委員長を選任することとした。 また、議案第96号については、閉会中の継続審査をした。

予算決算審査委員会記録

招集日時	平成28年9月16日（金）	本会議散会后
開議・閉議	午後2時00分	開会 ～ 午後2時10分 閉会
場所・形態	議場	会期中（第6回定例会）の開催
出席委員	委員長	橋本逸夫 副委員長 川崎輝通
	委員	山本恒道 田原隆雄
		尾川直行 田口健作
		津島 誠 掛谷 繁
		守井秀龍 立川 茂
		西上徳一 山本 成
		石原和人 森本洋子
		星野和也
欠席委員	なし	
遅参委員	なし	
早退委員	なし	
列席者等	議長	鵜川晃匠
	参考人	なし
説明員	なし	
傍聴者	一般傍聴	山陽新聞 読売新聞
	報道関係	なし
審査記録	次のとおり	

午後2時00分 開会

○橋本委員長 皆さん本会議でお疲れのところ、御苦労さまです。

ただいまの御出席は15名であります。定足数に達しておりますので、これより予算決算審査委員会を開会します。

本日は、本委員会に付託されました議案第88号及び議案第96号の審査について、御協議願います。

まず、議案第88号及び議案第96号の審査方法について御協議願います。

本件については、あらかじめ議会運営委員会で協議、決定されておりますとおり分科会を設置して行うこととなっております。

なお、分科会の設置から正副主査の選任までは委員長に一任されておりますので、御承知おき願います。

それでは、分科会の設置についてですが、総務産業委員会所管部分を審査する総務産業分科会と厚生文教委員会所管部分を審査する厚生文教分科会のふたつの分科会を設置することにしたと思います。

これに御異議ありませんか

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、そのようにします。

次に、分科員の選任については、委員長において指名したいと思います。

これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。

それでは、総務産業分科会の分科員には、総務産業委員の7名を厚生文教分科会の分科員には、厚生文教委員の8名を指名します。

次に、各分科会の主査、副主査については、委員長において指名したいと思います。

これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。

それでは、総務産業分科会の主査には、総務産業委員会の山本恒道委員長を副主査には森本副委員長を、また、厚生文教分科会の主査には、厚生文教委員会の掛谷委員長を副主査には山本成副委員長をそれぞれ指名します。

次に、各分科会の審査範囲についてですが、お手元の所管別分類表のとおりとし、各分科会において審査願いたいと思います。

これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、そのようにします。

次に、分科会の審査日程についてですが、議案第88号については20日から26日までの各常任委員会に併せて開催いただき、所管の審査を終了願いたいと思います。

これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、そのようにします。

以上で、議案第88号及び議案第96号の審査方法についてを終了します。

続いて、議案第96号平成27年度備前市一般会計歳入歳出決算の認定についてについては、閉会中の継続審査としたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、議案第96号は継続審査とします。

なお、レジュメに記載しております日程により、各分科会において所管の審査を行っていただき、11月8日に総括質疑、採決を行いたいと思いますので、よろしくをお願いします。

議案第96号の審査日程について、一部ミスプリントがあります。11月27日に総務産業分科会と記載していますが、10月27日の誤りですので、御訂正願います。

以上で、本日の議題は全て終了しました。

〔「ちょっといいですか」と尾川委員発言する〕

○尾川委員 予算決算のまとめをきっちりした形でしてほしい。というのが、今問題になっている総合運動公園の修理についての、ああいうものはやはり議会としてきちっとまとめて、それ以外のことも、要望書として書類として出すようにしてもらいたい。今までも委員長により大分違う、結果的に違う場合があったが、きちりまとめて、個人的な議員一個人の要望等ではなく、議会としてある程度枠のまとめをして提出すると、それに対して予算要求していくというように、予算につなげていくようなまとめ方を要望します。

○橋本委員長 暫時休憩します。

午後2時06分 休憩

午後2時07分 再開

○橋本委員長 再開します。

ただいま尾川委員からそのような事案の場合は、予算決算審査委員会の総括としてきちりと決議をして文書でもって執行部に提出をするという提案がなされました。

御異議ございませんか。

○掛谷委員 あれば総括でまとめて、ちゃんとしています。ただ個別案件について決議をする…。

〔「決議をしようとはしていない。要望というか」と尾川委員発言する〕

○尾川委員 委員会として取りまとめて、それがなされたかなされなにかするわけです。だからきちりとある程度、そこが議員間の議論というか意見交換でどこまでまとめられるかという

のが難しいところだが、それをまとめて出すべきだという提案です。

○橋本委員長 ただいま尾川委員からそのような提案もありました。努めてそのように行うということで、皆さん、御異議ございませんか。

○田原委員 それはいいが、私の一般質問が、本議会で決議したものが予算化されていないのではないかと言ったことがちょっと不都合という意味なのか。

〔「じゃあないです」と呼ぶ者あり〕

ちゃんとしたほうがいいのではないかということ。

〔「そういうこと」と呼ぶ者あり〕

○尾川委員 ああいう問題は前から、いつからなったのか新聞報道から見たのか、そのタイミングが、議会としてもある程度情報をつかんで、例えば28年度の予算のときにもっと強く言うようなことを、新聞記事を見てからあわてて決議するようなことではなく、できればね、タイミングが難しいがある程度そのようにして予算に上げなさいということと言わないと、いろいろ田原委員も御苦労されているのもよく理解できるが、やはり決算で来年度の予算につなげていくことに努めるべきだということを提案している。それぞれの委員長の時によって内容がいろいろあるが、今後そのようにまとめていったらどうですかと、確実に実施すべきものは、なかなか実行されないわけだが、そのような思いです。

○橋本委員長 了解しました。以上、よろしいですね、そういうことで。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、以上で本日の予算決算審査委員会を閉会します。

皆さん、御苦労さまでした。

午後2時10分 閉会